安全データシート

整理番号【454－5】

制定日　2011/12/09
改訂日　2025/09/30

1.化学品及び会社情報

化学品

化学品の名称　サラヤ尿石除去剤

供給者情報

会社　サラヤ株式会社

住所　大阪府大阪市東住吉区湯里2－2－8

担当部門　営業本部

電話番号　06-6797-2525

緊急時連絡番号　06-6705-1013

推奨用途及び使用上の制限:

推奨用途:小便器用尿石除去剤。業務用。

使用上の制限:推奨用途以外の用途に使用しない。

2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類:

健康有害性:

急性毒性(経口):区分4

皮膚腐食性／刺激性:区分1C

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:区分2B

皮膚感作性:区分1

環境有害性:

水生環境有害性 短期(急性):区分2

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:危険

危険有害性情報:

飲み込むと有害(経口)／重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷／

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ／水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手洗いうがいをよく行うこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

汚染された作業委は作業場から出さないこと。

環境への排出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護メガネ／保護面を着用すること。

酸化性がある為、火気、酸、アルカリ、還元剤、油脂及びその他可燃物と接触して分解、発火、爆発を起こすことがある。

【応急措置】

飲み込んだ場合:

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。

汚染した衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激または発疹が生じた場合:

医師の診断/手当を受けること。

吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/空容器は都道府県条令および市町村の規則に従って廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

成分:

ハロゲン化ヒダントイン（BCDMH、DCDMH）、その他

……

主成分BCDMH、DCDMHについて

CAS No.:

ブロモクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン（BCDMH） 126-07-7

1,3-ジクロロ-5,5-ジメチルヒダントイン（DCDMH）　118-52-5

官報公示整理番号：

BCDMH　(5)-6368

DCDMH　(9)-580

4.応急処置

吸入した場合：

直ちに新鮮な空気の場所に移し、水で口、のど、鼻等を洗浄する。

異常がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

付着物を取り除くため、乾いた布で直ちに拭く。

シャワー等で石鹸を使って少なくとも1分以上洗浄する。

異常がある場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合：

直ちに流水で15分以上洗眼する。

異常がある場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

水でうがいをする。無理に吐かせない。

異常がある場合は医師の診断を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：

粘膜に付着すると炎症を起す。皮膚、目、粘膜に刺激性がある。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

救助者は、必要に応じて適切な保護具（めがね、手袋、エプロン等）を着用する。

医師に対する特別な注意事項：

酸化性がある。

5.火災時の措置

適切な消火剤：

大量の水、炭酸ガス

使ってはならない消火剤：

ABC粉末消火剤や他の粉末消火剤

火災時の特定の危険有害性：

塩素、塩化水素、臭素、クロラミン等のガスを発生させる。

特有の消火方法：

大量の水、炭酸ガス消火器を使用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 ：

空気呼吸器、保護手袋、保護メガネ等適切な保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

吸い込んだり、眼、皮膚に直接触れないような適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項:

環境への放出は避ける。

漏出した周辺は「立ち入り禁止」とし、河川への流出等周辺への拡大を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出物は掃き集め、空容器に回収する。

二次災害の防止策:

回収した漏出物および水漏れした製品は「廃棄上の注意」に従い廃棄処理をする。

水漏れした製品は、大量の水に溶解し還元剤を徐々に加えて残留塩素を分解後、アルカリ剤で中和し放流する。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い:

技術的対策:

吸い込んだり、眼、皮ふに直接触れないように適切な保護具を着用する。

局所換気装置を設置する。

火気を近づけない。水に濡らさない。

安全取扱注意事項:

飲み込むと有害である。

眼、鼻、口へ入らないように適切な保護具を着用する。

金属を腐食させる。

尿石除去以外の用途には使用しない。

接触回避:

アルカリ性や酸性のトイレ洗浄剤を直接かけない。吸湿に注意する。

吸い込んだり、眼、皮ふに直接触れないように適切な保護具を着用する。

衛生対策:

作業服は常に清潔に保持し、汚れたままにしない。

保管

安全な保管条件:

容器を密閉し、水、湿気、直接日光を避け、冷暗所に保管する。

火気、摩擦、衝撃を避ける。

酸化還元性物質と同一場所に置かない。

子どもの手の届かないところに保管する。

安全な容器包装材料:

ポリエチレン内装袋またはOP／CP（ポリプロピレン）内装ダンボールケース、ファイバードラム

8.ばく露防止措置及び保護措置

許容濃度等:
管理濃度:
(塩素ガスとして) 0. 5ppm(1995年3月27日 労働省告示第26号)
許容濃度:
(塩素ガスとして) 0. 5ppm, 1. 5mg／m3(2019年日本産業衛生学会)
TLV－TWA(8時間): 0. 1ppm(ACGIH, 2018)
TLV－STEL(15分): 0. 4ppm(ACGIH, 2018)
DCDMH: TLV－TWA:0. 2mg／m3(ACGIH, 2001)
TLV－STEL:0. 4mg／m3(ACGIH, 2001)
設備対策:換気の良い場所で作業する。
保護具:

呼吸器の保護具	保護マスク
手の保護具	ゴム手袋
目の保護具	保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	長袖の作業服

9.物理的及び化学的性質

物理状態:固体(錠剤)
色:白色
臭い:ハロゲン臭
融点/凝固点:BCDMH:融点120～148℃
DCDMH:融点131～134℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲:なし
可燃性:情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:情報なし
引火点:DCDMH 171～174℃以上
自然発火点:情報なし
分解温度:BCDMH:165℃
DCDMH ＞200℃
pH:情報なし
動粘性率:情報なし
溶解度:水0. 22g/100g(25℃)
n-オクタノール/水分配係数(log値):情報なし
蒸気圧:DCDMH 0. 087Pa(25℃)
密度及び/又は相対密度:DCDMH:1. 62(24℃)
相対ガス密度:情報なし

粒子特性:情報なし

10.安定性及び反応性

反応性:通常の条件下では安定している。
化学的安定性:通常の条件下では安定している。
危険有害性反応可能性:情報なし
避けるべき条件:高温多湿を避ける。
混触危険物質:酸、アルカリ、脱塩素剤(チオ硫酸ソーダ、亜硫酸ソーダ)、還元剤
危険有害な分解生成物:
(還元性物質)塩素、塩化水素、臭素、クロラミン等の有害なガスを発生する。

11.有害性情報

急性毒性:区分4 飲み込むと有害(経口)

経口	BCDMH	LD50(ラット) 437mg/kg
	DCDMH	LD50(ラット) 618mg/kg
経皮	BCDMH	情報なし
	DCDMH	LD50(ウサギ) >20g/kg
吸入	情報なし	

皮膚腐食性/刺激性:区分1C 重篤な皮膚の薬傷
BCDMH 情報なし
DCDMH 腐食性
眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分2B
BCDMH 情報なし
DCDMH 重度の刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性:区分1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
BCDMH 情報なし
DCDMH 皮膚感作性あり
生殖細胞変異原性:分類できない
発がん性:分類できない
生殖毒性:分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):分類できない
誤えん有害性:分類できない

12.環境影響情報

生態毒性:

BCDMH　LC50ﾐｼﾞﾝｺ(48時間)0.19mg/L
DCDMH　LC50ﾆｼﾞﾏｽ(96時間)1.1 mg/L
残留性・分解性:
BCDMH／DCDMH
水の存在下で次亜臭素臭、次亜塩素酸を形成して5,5-ｼﾞﾒﾁﾙﾋﾀﾞｲﾄｲﾝ
および5,5-ｴﾁﾙﾒﾁﾙﾋﾞﾀﾞﾝﾄｲﾝに変化し、最終的には生分解していく。
生態蓄積性:情報なし
土壌中の移動性:情報なし
オゾン層への有害性:情報なし

1,3-ｼﾞｸﾛﾛ-5,5-ｼﾞﾒﾁﾙｲﾐﾀﾞｿﾞﾘｼﾞﾝ-2,4-ｼﾞｵﾝ　5～15%　含有
(化学物質管理促進法(PRTR法) 第二種指定化学物質 No. 2－27)

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌撹乱物質
(いわゆる環境ホルモン)と位置付けした 77の指定物質は一切配合していない。

13.廃棄上の注意

化学品, 汚染容器および包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, またはリサイクルに関する情報
「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
残余廃棄物:産業廃棄物として処理する。
管轄の自治体のルールに従い廃棄する。
大量の水に溶かし還元剤を徐々に加えて残留ハロゲンを分解し、
アルカリで中和して放流する。
火災の原因になるため、ゴミ箱やゴミ捨て場に絶対に捨てない。
使用済容器:管轄の自治体のルールに従い処理する。

14.輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと
国際規制
国連分類:クラス8(容器等級Ⅲ)
国連番号:3261
国内規制:
船舶安全法　腐食性物質
航空法　腐食性物質
輸送の特定の安全対策及び条件:
容器に漏れがない事を確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、
荷崩れを防止する。衝撃は与えない。

水漏れ、火気及び直射日光は避ける。
水、酸、アルカリ、酸化還元性物質やその他可燃性物質に触れないようにする。

15.適用法令

労働安全衛生法(安衛法):
名称等を表示すべき危険物及び有害物　法第57条、施行令第18条
名称等を通知すべき危険物及び有害物　法第57条の2、施行令第18条の2
皮膚等障害化学物質等　規則第594条の2
・1，3－ジクロロ－5，5－ジメチルイミダゾリジン－2，4－ジオン　5～15%
・その他(営業秘密として記載を省略し、誓約書締結後に開示)
化学物質管理促進法(PRTR法):該当する
船舶安全法:腐食性物質　UN3261
航空法:腐食性物質　UN3261
毒物及び劇物取締法:該当しない

16.その他の情報

・本SDSはJIS Z 7253:2019に準拠しています。
・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
